倉敷市真備地区で

囲碁の7大タイトル戦「碁聖戦」を開催しました!

倉敷市真備地区は、中国から囲碁を持ち帰ったとされる吉備真備公 ゆかりの地。真備公の偉業を顕彰するため、囲碁の小学生全国大会で ある「くらしき吉備真備杯こども棋聖戦」を開催するなど、囲碁事業・ 囲碁文化の振興に力を注いでいます。

6月26日、平成30年7月豪雨で被災した「マービーふれあいセン ター」の復興記念事業として、囲碁の7大タイトル戦のひとつ「碁聖戦」 の5番勝負第1局を開催しました。

序盤から熱い戦いが繰り広げられ、鋭い一手から優勢を築いた井山 三冠が白星をつかみました。



▲タイトル連覇がかかる一力遼碁聖(右) と2度の七 冠独占を果たし囲碁棋士初の国民栄誉賞を受賞した 井川裕太三冠(左)



クラシキ文華新聞 Vol.25 令和3年6月吉日発行

【編集・発行】 クラシキ文華新聞編集部 (倉敷市くらしき情報発信課内) T 710-8565 岡山県倉敷市西中新田 640 TEL086-426-3061 FAX086-426-4095 pubinfo@city.kurashiki. okavama.ip

**** WEBもチェック! /

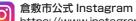
https://citysales.city.kurashiki.okayama.jp/

クラシキ文華



倉敷市公式 Facebook





https://www.instagram.com/kurashiki city/

の方々 お

倉 敷 の「今」を伝えるニュースレター

2021年6月吉日発行

クラシキズ華新聞

第25号発行のご挨拶



岡山県南部に位置する、倉敷市一。町家や古民家を利用した新たな観光スポットが次々と生まれて いる「倉敷美観地区」、日本初の私立西洋美術館である「大原美術館」、繊維産業を進化させ続けてき た「国産ジーンズ発祥の地・児島」など、歴史と伝統が常にアップデートされ、新しい文化が生み出さ れています。そんな、倉敷で華開く新しい文化「クラシキ文華」の魅力をお伝えする「クラシキ文華新聞」 第 25 号をお届けします。ぜひ、ご一読ください 🔑

> 真 地

域



倉敷市北西部の真備地区にある「真備竹林麦酒醸造所」は、マイクロブルワリー と呼ばれる小さな地ビール醸造所です。2011年6月の創業から造り続けてい るのは、無濾過(ろか)・非加熱で酵母の生きた味わいを楽しませてくれる地ビー ル (酒税法上は発泡酒)。運営しているのは、NPO 法人「岡山マインド『こころ』 (以下「マインド」)」。「マインド」は、心の「病」を抱えた当事者やその家族の方々 が安心して生活できる支援体制とやさしい地域づくりを目的に、2002年3月 に設立されました。

「十数年前にグループホームを開設しようとした際、地域の人々のご理解を得 るのに苦労したことがあります。そこで、みなさんが喜んでくださるような『場』 と一緒にグループホームを作ることで、地域の皆さんに受け入れていただける仕 組みづくりをしたいと考えるようになりました。そんな時、岡山市で『吉備土手 下麦酒醸造所』を営む永原敬さんからビール造りを勧められたのです」。そう話 すのは、「マインド」代表の多田伸志さん。多田さんは、永原さんから手弁当でビー ル造りを一から学び、「真備竹林麦酒醸造所」を開設。毎週末にオープンするビ アレストラン 「Beer まび」、「マインド作業所」での高齢者の方々へのお弁当の 配達や「マインド親子クラブ」を通して、次第に地域に馴染んでいきました。







(4) 《1》

西日本豪雨による水害からの復興のために

2017年には新しい取り組みとして、倉敷市にある「岡山大学資 源植物科学研究所しの佐藤和広教授がビール用品種として開発した 大麦を近隣農家に育ててもらい、それを原料とする完全倉敷産地 ビール「くらしき物語」造りを開始。米国製の機械を新規導入し、倉 敷市立短期大学の学生さんたちに瓶のラベルをデザインしてもらい、 初出荷を目指してビール造りを進めていました。

ところが、2018年7月6日深夜から7日にかけて、真備町一帯は 西日本豪雨による洪水に見舞われました。初出荷を目指していた「く らしき物語」は、後は瓶に詰めて出荷という段階でしたが、「マインド」 の醸造所や作業所、グループホームも浸水の被害を受けました。





のボランティアに没頭しました。



「マインド」は、水が引いた数日後にビアホールをボランティア

センターとして開放。多田さん自身も地域の家々の泥出しや清掃

同年8月1日、避難していたグループホームのメンバーが帰っ

てきました。彼らの中から、「自分たちを迎え入れてくれた町に恩

返しがしたい」という声が上がります。その月から、毎月第3土

曜日に「地ビールと音楽の夕べ(のちに「まちコン」と改名)」を開 催するようになったのです。避難生活でバラバラになった町の人た

ちが集まる「場」を設け、奇跡的に無事だったビールを振る舞い、

みんなで音楽を聞き、歌い、みんなで無事を喜びあいました。ま た、真備町復興プロジェクト「一緒にやろう!」をスタートし、全 国から集まった寄付金を地域のお店などに再起の資金として手渡 しました。さらに、11月にはみんなで「お互いさまセンターまび」

を開設。生活の困りごとに関する相談や移動手段を失った人の送









迎など「被災者同士で助け合う仕組みづくり」を始めました。 こうしたさまざまな活動は、「マインド」の面々の「真備の人々と ともに立ち上がり、町と一緒に復興していきたい」という強い思 いが原動力だったといいます。

復興に向けて一歩また一歩と歩みを進めていた 2020 年初夏。 岡 山市の「吉備土手下麦酒醸造所」が苦しんでいることを知った多田さ んは、ビールを買い受け、自分たちの醸造所で瓶詰めし販売しました。

「僕たちの周りには、僕たちを応援し、助けてくれる人がたくさんい ました。だから、僕たちが今ある『おかげ』を当たり前に返していくだけ。 『真備竹林麦酒醸造所』もコロナ禍の影響を受けていますが、夢はいっ ぱいあるんです」と多田さん。そのひとつが、水害で休止していた、完 全倉敷産地ビール「くらしき物語」を造るプロジェクトの再始動です。 「被災した 2018 年の秋に、町内の服部営農組合の皆さんが、多田さ ん、麦を植えよう!と、「岡山大学資源植物科学研究所」の開発したビー ル用大麦を植えてくださり、翌年の春には立派な大麦を5トンも収穫 してくれました。あいにくその年は大麦を麦芽にする機械が水没でだ めになっていたため、そこだけは大手ビールメーカーの工場に依頼し ました。新しい機械もコロナ禍で製造がストップし、いつ届くか分か らない状況です」。そんな中、それでも前を向こうとしています。

「真備は昔から、時に氾濫する小田川と共に畑を作り、暮らしてき たという歴史があります。そういった、『川と暮らす』物語を真備の 復興に役立てたい、『くらしき物語』にはそんな想いが込められてい るんです。まだまだやらなければならないことがたくさんあるけど、 **倉敷の皆さんが思いを込めて育てた大麦でビールを造ることで、こ** の町を元気にしていけたらうれしいですね」。そう話す多田さんは、 柔和な笑顔を浮かべました。









(2)



クラシキのニュース

直備サイクリングマップができました!

古代吉備の史跡や観光・グルメスポットをはじめ、平成30年7月豪雨災害から の復興状況を確認できる場所を紹介した「真備サイクリングマップ」ができました。 レンタサイクルの情報や、ロードバイクが駐輪できるサイクルスタンド設置スポット も掲載しています。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

●古代吉備の悠久ロマンコース

古墳群や吉備真備ゆかりの地を紹介するコース

□行程…真備ふるさと歴史館→竜王塚古墳→まきび記念館→箭田大塚古墳→黒 宮大塚→二万大塚古墳(約11 ᡮ급入元)

●直備復興への軌跡コース

小田川沿いに真備地区の整備状況をたどるコース

□行程…平成30年7月豪雨災害の碑→オレンジライン→復興防災公園(仮称) □ 行幸啓記念碑→まきびさくら公園→琴弾岩(約6+よー)









▲サイクルスタンド

ه ه م



コロナ禍でも楽しめる日本遺産コンテンツ

日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて、わが国の文化や伝統を語る「ストーリー」 を、文化庁が認定するものです。繊維産業の発展と現在の和・洋の町並みの関係、経済の 大動脈であった北前船がもたらした富、桃太郎伝説のルーツとなった古代吉備の遺産と、倉 敷市は全国最多の3つの日本遺産ストーリーが認定されている他、市内の全地区に構成文 化財が存在するなど、まさに「日本遺産のまち」となっています。

スマートフォンやパソコンを使って、コロナ禍でも楽しめるさまざまなコンテンツを、市ホー ムページに掲載しています。

▲市ホーム



倉敷市の3つの日本遺産ストーリー

- ▶ 一輪の綿花から始まる倉敷物語~和と洋が織りなす繊維のまち~
- ▶ 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間~北前船寄港地・船主集落~
- ▶ 「桃太郎伝説」の生まれたまちおかやま~古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語~

日本遺産コンテンツ

●くらしき日本遺産トリップ

市ホームページ「くらしき日本遺産トリップ」では、まるで現地にいるように、360度 全方位を見ることができる VR 動画などが視聴でき、倉敷の町並みや歴史的な遺産を、 **倉敷小町と一緒にバーチャル見学することができます。また、スマートフォン用アプリ「日** 本遺産倉敷 Navi」を活用すると、AR や多言語による音声ガイドなど、現地でのリアル 体験がもっと楽しめます。コロナ禍でもアフターコロナでも活用できるコンテンツです。



▲くらしき日本遺産トリップ

●動画で巡る日本遺産のまち 倉敷

多言語で制作した日本遺産ストーリーの紹介映像をはじめ、市 広報チャンネルで制作・放送した、日本遺産関連番組などが視聴 できます。

●パンフレット・リーフレット、学習まんが

日本遺産ストーリーや構成文化財などを掲載したパンフレットや 小学生向けの学習漫画を、電子書籍形式で閲覧できます。

倉敷市の情報は、「「倉敷市公式 Facebook (https://www.facebook.com/KurashikiCity) でも紹介しています!

《3》